

平成15年度 中部職業能力開発促進センター研修報告

Web ページ構築技法 [Macromedia Flash MX]

玉置 一 雄*

名古屋大学工学部・工学研究科技術部

はじめに

最近の技術革新や情報化の急速な進展に対応するために、能力開発セミナーが2003年11月19日～11月21日の3日間、雇用・能力開発機構中部職業能力開発促進センター(ポリテクセンター中部)で開講された。この短期集中セミナーは、きめ細かなフォローを行う人材高度化支援事業で、幅広い知識と高度な技術・技能を習得することにある。機械系、電気・電子系、情報・通信系および居住系の4つの系に分けて開講されており、今回は情報・通信系のネットワークソリューション技術の中の「Web ページ構築技法[Macromedia Flash]」セミナーコースに参加したので報告する。

タイムラインアニメーション

アニメーションの基本は、複数のコマを切り替えて、あたかもオブジェクトが動いているかのように見せることである。そのときタイムラインを使用する。またタイムラインは、図1に示すようにレイヤーも作成できる。

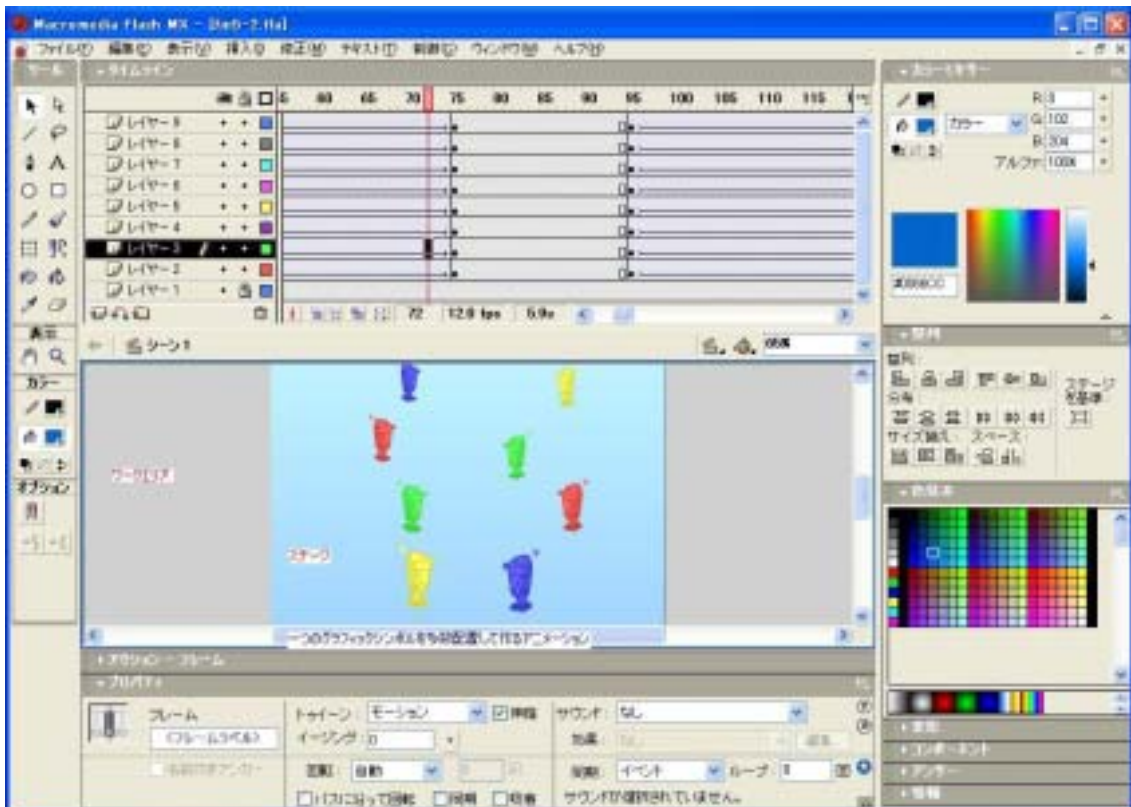


図1 グラフィックシンボルを複数配置して作るアニメーション

* 装置開発技術系

アニメーション作成方法は、「トゥーン (in betweenの省略形)」と呼ばれる処理で、2つのキーフレームを指定し、1番目のキーフレームのグラフィックが2番目のキーフレームのグラフィックに変化するようにその間にフレームを挿入する処理である。Flash MXには、「モーショントゥーン」と「シェイプトゥーン」の2種類のトゥーンがある。モーショントゥーンがグループ化されたオブジェクトまたはシンボルのインスタンスが置かれたキーフレームに設定するのに対して、シェイプトゥーンはグループ化やシンボルのインスタンスではないオブジェクトがおかれたキーフレームに設定する。

モーショントゥーンは、開始キーフレーム内のインスタンス、グループ化されたオブジェクト、またはテキストのプロパティを定義し、後続のキーフレーム内のオブジェクトのプロパティを変更して作成する。タイムラインにモーショントゥーンを設定すると2つのキーフレームの間に自動で中間フレームを作成して、オブジェクトが移動・回転、加速・減速、ズームイン・ズームアウト、フェイドイン・フェイドアウトするスムーズなアニメーションが作成できる。

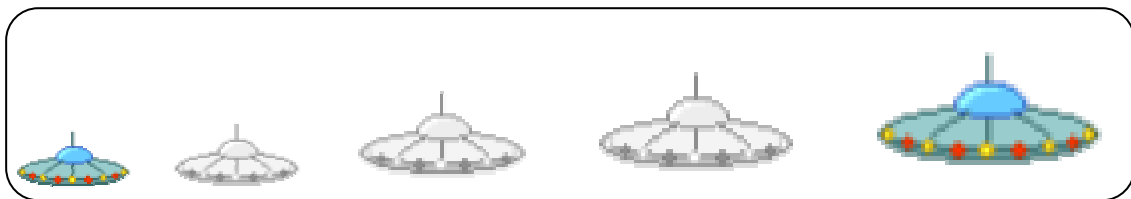


図2 ズームイン・ズームアウトするアニメーション

シェイプトゥーンは、形状を変化させるときに使用し、モーショントゥーンの場合と同様に、キーフレーム間のフレームにアニメーションが作成される。1つのキーフレーム内のシェイプの属性を指定し、後続のキーフレーム内でそのシェイプを変更するかまたは別のシェイプを描画する。

アニメーションの速度を変更するには、1秒間に再生されるフレームの数を変更し、加速と減速の度合いを決定する正および負のイー징値 (図1) を設定する。正の値を指定した場合、トゥーンは速い速度で開始し、アニメーションの終わりに近づくにつれて減速する。負の値を指定した場合、トゥーンは遅い速度で開始し、アニメーションの終わりに近づくにつれて加速する。さらに、タイムラインエフェクトを使用すると、テキスト、グラフィック、イメージ、およびシンボルにアニメーションエフェクトをすばやく追加できる。



図3 加速・減速するアニメーション

最後に、Macromedia Flash MX を用いたインタラクティブ性とアニメーション機能を兼備えた実習を通じて、Flash の基本を習得した。今後より高度な Web ページ構築に挑戦していきたい。

参考文献

1. インフォメディア著「スピードマスター FLASH MX」, 技術評論社 (2002) .
2. マクロメディア Macromedia Flash MX 2004 (<http://www.macromedia.com/jp/>) .

